

# 共同礼拝

2023年1月8日(日) 午前10時30分

午後3時

司式 牧師 高橋和人

前 奏

招 詞 イザヤ書43章18~19a 節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

創世記 2章7節 (旧2)

コリントの信徒への手紙一

15章42~49節 (新322)

祈 禱

使徒信条

讃美歌 55 (1, 5)

説 教 「命を与える霊」 牧師 姜 脛米

祈 禱

讃美歌 285 (1)

献 金

頌 栄 539

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

## 1月の祈り

新たな年を迎え、主にあって日々新たにされて生きる恵みを感じることができるように。

新たな思いをもって信仰に歩み出し、祈りの時が増し加えられるように。

戦火が止み、平和がもたらされるように。痛みを負っている人々に慰めといたわりが与えられるように。

教会の新たな世代が御言葉によって育まれるように。

## 今日の祈り

礼拝に注がれる主の慈しみが、出席の困難な人々にも与えられ、主の体の肢として生きる励ましが与えられるように。

この世界が主の御心に導かれ、憎しみを乗り越え平和を求めるものとなるように。

寒さ厳しい中であって、高齢者、弱っている人々が守られ、力づけられるように。

愛する者を御許に委ねた人々に、慰め主なる聖霊のいたわりと慰めがあるように。

「命を与える霊」 姜 脛米

コリントの信徒への手紙一 15:42~49

35節でパウロは、「死者はどんなふうに復活するのか、どんな体で来るのか」という疑問に対して、種と実りのたとえをもって答えます。

本日は、その続きです。神様が種から実を实らせて下さるように、私たちも、この体が死んで、世の終わりに、神様によって新しい、今よりも素晴らしい体を与えられるのだとパウロは語っています。

私たちの今のこの体は、朽ちるもの、卑しいも

の、弱いものです。しかし復活において与えられる体は、朽ちないもの、輝かしいもの、力強いものなのです。これらをまとめて44節では「自然の命の体が蒔かれて、霊の体が復活するのです」と言われています。私たちの今の体は「自然の命の体」であり、復活の体は「霊の体」なのです。

44節の「自然の命の体」という言葉と、45節は密接に結びついています。これは、神様によって造られ、神様によって命の息を吹き入れられて生かされている体ということです。

パウロはここで、私たちが弱く卑しい者であり、朽ちていく存在である、そのような自然の命の体を生きている私たちが、霊の体を与えられる時が来ると語っているのです。「霊の体」、それは、神様の霊、聖霊のことです。

主イエス・キリストは、肉体をもって復活して天に昇り、父なる神の右に座しておられます。その神様のもとから、今、主イエスにかわって聖霊が私たちに遣わされ、働いていて下さいます。

その聖霊の働きによって私たちは、主イエスの十字架の死と復活によって成し遂げられた救いとしての神様の恵みを示されました。その恵みによって新しく生かされるのです。聖霊は、私たちに新しく生かし、命を与えて下さいます。「命を与える霊」とはそういう聖霊の働きを語る言葉です。

この「命を与える霊」が、世の終わりに、私たちに新しい命を与え、聖霊によって生きる霊の体を与えて下さるのです。復活された主イエス・キリストと同じ姿に私たちに新しく変えて下さるのです。その聖霊が、今、自然の命の体をもって生きている私たちにも働いていて下さいます。